

つたエールげん

県内で頑張っている企業や人にエール(応援)を送ります!

株式会社 FUKUNOTANE
(南島原市)

代表取締役

かわ はら くに あき
河原 邦昌さん



魚本来のおいしさを伝えたい 魚と海の未来を育てる

日本有数のトラフグ生産量を誇る長崎県。「株式会社 FUKUNOTANE」は、卵から稚魚を育てる種苗生産を軸に、水産加工品の販売や食育などを手掛けている。未経験から事業を継承した河原さんは、魚が持つ本来のおいしさを届けるため挑戦し続けています。

18歳まで大阪府で過ごし、「海のそばで働きたい」という思いがあり山口県の水産大学校へ進学。その後、福岡県の魚市場に就職。その中でより生産者に近い立場の仕事に興味を持つようになり、養殖事業などを手掛ける松浦市の水産会社へ転職し、入社2年目にはトラフグ陸上養殖事業にも関わり、魚を飼育する楽しさややりがいを感じるようになりました。

そんな中、種苗生産を手掛ける南島原市の会社が後継者を探しており、取引先経由で事業継承の話が舞い込みました。専門的技術も経営経験も資金もありませんでしたが、「やりたい事ならチャレンジしないの?」という友人の言葉に後押しされ、33歳で事業を継承しました。

創業当時は多くの取引先、お客様に助けてもらいながら、事業を継続していく中、種苗会社がトラフグの歯を切って出荷することがまれな時代に、少しでも生産者の役に立てばと、他の魚を傷つけないよう、出荷する稚魚の全ての歯を切る事を決意。出荷された稚魚は「健康で

元気に育つ」と養殖業者から高い評価を得て、徐々に安定して注文をいただけるようになりました。

2023年には、水産加工業を新規事業としてスタート。魚の持つおいしさ、生産者が知る浜のおいしさを表現しようと、試作を繰り返した商品の一つがお魚のオリーブオイル漬けで、南島原市の「おいしい南島原ブランド」に認定されました。

2024年には会社名を「株式会社 FUKUNOTANE」に改称。多くの命をいただきながら生きていることへの感謝の精神を子どもたちに感じてもらうため、島原半島觀光連盟から「さかな博士育成塾プロジェクト」を受託し、地元の小・中学生や修学旅行生を対象に、養殖場見学や魚の調理・試食体験に取り組んでいます。

南島原市で育った子どもたちが、大人になって都会へ出て行ったとしても、「生まれ故郷に面白い水産会社があった」と覚えていてもらえるよう、新たな挑戦を続けます。



併設する加工場で、新商品作りに取り組む様子



「おいしい南島原ブランド」に認定されたオリーブオイル漬け